

環境の大切さを再認識

～女性団体研修会～



▲絵本のカバーを使って、きれいなペーパーバックを作成中

2月19日(日)、保健福祉センターだいで、大山町女性団体連絡協議会主催による平成22年度女性団体研修会が開かれ、町内の女性約100人が参加しました。同連絡協議会では、今年度「生活の中から環境を考える」を主な活動テーマとして取り組みました。そして今回の研修会でも同じテーマを掲げ、講演会、分科会、体験活動を行いました。

まず鳥取県地球温暖化防止活動推進センター副理事長でドイツ生活を体験された山本ルリコさんから、日本人とドイツ人の日常生活の比較からみえるエコ活動の違いなどの講演を聞いた後、五つの分科会に分かれ、「地域・家庭から地球の明日を考える」をテーマに、自分が普段心がけているエコな生活の取り組みなどを発表し合いました。

午後からは、絵本のカバーを利用したペーパーバック作りやヨガの体験をするなど、環境の大切さを再認識するとともに、充実した一日となりました。

日頃の成果を披露

各地区公民館まつり

年未年始の記録的な大雪がすぎ、春が来るのが待ち遠しい中、「なかやま公民館まつり」と「こうれいふるさと祭り」が2月19日(土)・20日(日)に、大山分館まつりが3月5日(土)・6日(日)に、それぞれ盛大に開かれました。各会場では、公民館を拠点に活動されているみなさんによる作品の展示のほか、芸能発表やバザーが行われ、会場内は集まった多くのみなさんの熱気で、一足早い春が訪れたようでした。



▶上乃婦人会による劇「花咲かじいさん」の一場面 (こうれいふるさと祭り)



▲チビツ子の集いで餅つき体験 (こうれいふるさと祭り)



▲弥生の風歌声サロンによるコーラス披露 (大山分館まつり)



▲演奏も踊りも息ぴったりの中山芸能同好会 (なかやま公民館まつり)